

アートで伝える考える 福島は今、未来

2018.3.3 sat.
-4.11 wed.

9:30-17:00 入館は16:30まで

平成29年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業
はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト2017成果展

at Fukushima Museum

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故から7年を迎え、その記憶も薄れつつある。しかし、巨大地震と原子力発電所事故が福島に限らない課題であることはこの国の多くの人が共有し続けなければならないだろう。はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトは、文化・芸術の視点から2011年以降福島が抱えている課題に向き合ってきた。地域に新たなアートを定着させ、アーティストと共に被災地の記憶をとどめ、未来そのものである子供たちにアートワークショップを通じて触れあってきた。はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトで生まれた作品は、どれも、2011年以降の福島を伝え、ともに考えようと語りかけている。はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトの6年間の成果の一部を展示公開し、芸術文化を通して福島を経験を共有し、共に考える場としたい。

2018.3.3 sat.-4.11 wed.

9:30-17:00 入館は16:30まで

会場 | 福島県立博物館企画展示室
常設展部門展示室(歴史美術)

観覧料 | 無料

主催 | 福島県立博物館
はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会



岡部昌生フロッタージュプロジェクト
岡部昌生(美術家)
「被曝続ける樹」他
【フロッタージュ作品】



暮らしの記憶プロジェクト
安田佐智種(美術家)
「みち<<未知の地>>」
【写真作品】



震災・大事故と文化財を考えるプロジェクト
藤井光(美術家/映像作家)
「福島・文化・文化財～被災地のミュージアムと文化財のこれから～」
【映像作品】



福島写真美術館プロジェクト
土田ヒロミ(写真家)
「願う者は叶えられるか」
【写真作品】

福島写真美術館プロジェクト
岩根愛(写真家)
「Island in my mind, Futaba」
【写真作品】

EVENT

ギャラリートーク アートで伝える考える

3.3 sat. 14:00-14:30

会場 | 福島県立博物館企画展示室
部門展示室(歴史美術)

講師 | 福島県立博物館学芸員

グランド・ラウンドテーブルファイナル

岡部昌生フロッタージュプロジェクトの6年

3.4 sun. 14:00-15:30

会場 | 福島県立博物館企画展示室

講師 | 岡部昌生(美術家)

港千尋(著述家)

赤坂憲雄(福島県立博物館長)

/(はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会委員長)

いずれも参加費無料・申込不要

お問合せ

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会事務局

〒965-0807 福島県会津若松市城東町 1-25

TEL 0242-28-6000 (福島県立博物館代表) FAX 0242-28-5986 (福島県立博物館内)

*毎週月曜日、祝日の翌日は休業。

*はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト Web ページのお問合せフォーム
もご利用ください。



はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト

福島県は、太平洋側から南北の境界線で浜通り、中通り、会津地方にわかれ、3つの地方はそれぞれ異なった風土や文化をもっています。

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトは、2012年度から、福島県内の団体と福島県立博物館が連携して行っているアートプロジェクトです。

詳しくはこちら→hamanakaizu.jp

